
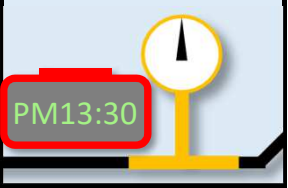
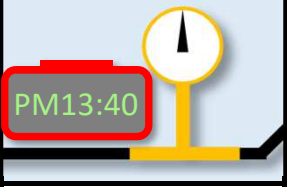
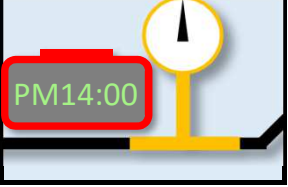
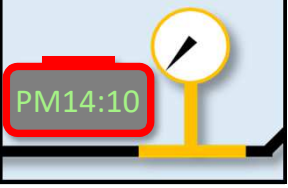
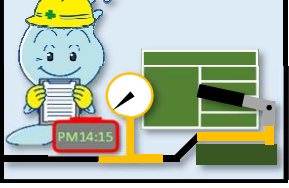


動画撮影による水圧試験 実施手順書

No.	内容	撮影画面イメージ
(1)	【試験開始前】 現場代理人が試験実施日、工事件名、試験内容を読み上げる。 (撮影対象：現場代理人) 例) 「〇月×日、管整第△-□号 ◇◇地内配水支管更新工事の水圧試験を実施します。試験水圧は1.0MPa、加圧時間は30分以上です。」	
(2)	【試験開始】 現在時刻を読み上げ、水圧試験開始を宣言。 (撮影対象：水圧計) 例) 「現在時刻〇〇時××分、水圧試験を開始します。」	
(3)	【試験中】 試験時間中、カメラを固定し、水圧計を撮影。 (撮影対象：水圧計) ※. この間、現場代理人等の立会い等は不要です。撮影機器の盗難等には十分お気を付けてください。(機器の撮影可能時間が超過しても、この間での撮影再開は不要です。)	
(4)	【試験終了】 (※ (3) 中に機器の撮影可能時間を超過した場合は、ここで再開) 試験終了時刻と経過時間、水圧を読み上げる。 (撮影対象：水圧計) 例) 「現在時刻△△時□□分、開始より◇◇分経過、現在の水圧は1.0MPaです。」	
(5)	【水圧低下確認】 管末からの水抜き実施を宣言し、完了後水圧を確認する。 (撮影対象：水圧計) 例) 「これより管末からの水抜きを行います。(水抜き実施) 水圧低下を確認。」	
(6)	【0確認】 現場代理人が0確認を宣言。 (撮影対象：水圧計) 例) 「これより水圧計の0確認を行います。 (0確認実施) 水圧が0MPaであることを確認。」	
(7)	【撮影終了】 現場代理人が試験終了を宣言。 (撮影対象：現場代理人) 例) 「以上で本日の水圧試験を終了します。」	

※この間、カメラが動かないように注意してください。

※. 上記で示している各『例』は、現場代理人の方に読上げてもらう内容の一例です。

※. 撮影に際しては、開始前の撮影機器の充電状況や撮影中のピント調整等に十分留意して行ってください。

※. (3) 中に撮影可能時間を超過し、(4) から撮影再開する場合は併せて時計など時間が分かるものを映すようお願いいたします。